

# まちの話題



滝上1区自主防災組織

## 宝くじ助成事業で防災資 機材の整備を行いました

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、滝上1区自主防災組織と木原谷地区自主防災班に投光器や発電機などの防災用資機材の整備が行われました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として、財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、滝上1区自主防災組織と木原谷地区自主防災班の、今後の益々の活性化が期待されます。



木原谷地区自主防災班

## 実際の岩壁で 山岳救助訓練

2月3日、仏原にある岩壁で上益城消防組合本部による山岳救助訓練が実施されました。

上益城消防本部では来春の山岳救助隊の設置を見越して訓練を行っており、訓練は15人の消防隊員が2日に分けて実施。山岳地帯の登山や、岩壁の降下を行い、山岳での事故に備えた搬送などを訓練しました。

最近では登山ブームなどで登山者も多く、それによる山岳遭難者が多くなっているとの事。消防隊員は、「万一の時には救助に全力を注ぐが、登山の際は登山者も十分に準備などをして行ってほしい。」と話されていました。



## DVは大人だけの 問題ではない

2月10日、蘇陽中学校で人権擁護委員によるデートDV（ドメスティックバイオレンス）の寸劇とDVDの上映がありました。中学3年生を対象としたこの寸劇は、男女の交際の中で身近に起こる身体的や精神的な暴力を劇やDVDを通して委員の方が分かりやすく説明したものです。DVは大人だけの問題ではなく、子どもたちの交際の中にもあることを知ってもらうため今回中学生を対象に実施されました。劇では身近な日常会話での事例が紹介され、生徒たちは真剣に話を聞いていました。



## 山都町身体障害者 福祉協会慰問

2月16日、山都町身体障害者福祉協会の方々が浜美荘を訪ねられました。協会のみなさんはグラウンドゴルフやゲートボール、歌謡祭などの活動をされており、各種の大会で優秀な成績を収められています。

南京玉すだれや健康ダンス、美しい舞踊やカラオケなど様々な演目を披露され、入所者の皆さんも大変喜ばれていました。今回の訪問は去年に引き続き2回目となり、今後も交流が続いていってほしいと思います。



## フッ素うがい

2月19日、潤徳小学校でフッ化物洗口事業が始まりました。今回実施したのは1・2年生の子ども達15名です。子ども達は、先生や保健師からうがいの説明を聞き、約1分間、音楽に合わせて、ブクブクうがいを上手にしています。

フッ化物洗口は、フッ素が歯に浸透し、歯の質を高める効果があります。日頃の歯みがきとフッ化物洗口を行うことで、むし歯の予防により効果が期待できます。



町内の小学校ではこの3月には、潤徳小学校の他に、清和小学校、蘇陽小学校の1・2年生でも始まりました。フッ化物洗口は現在、熊本県内の小・中学校への導入が進められています。

## 蘇陽南小 読み聞かせの会

蘇陽南小の読み聞かせの会「ブルーベリーズ」は、現在13名で活動しています。メンバーは保護者の他、保護者OB、児童の姉など様々で、第1第3水曜日の朝自習の時間にクラス毎に読み聞かせを行っています。6年生がもうすぐ卒業ということで、3月5日の業間の時間に、スペシャルバージョンを全児童に披露しました。お話のタイトルは「どろぼうの息子」。シナリオは蘇陽中3年生の久枝凛花さんが作ったものです。ピアノ伴奏のせて、歌あり踊りあり、ちょっとしたジョークありの楽しい劇で、子どもにも大人にも（当日は大野老人会も来校）大盛況でした。3月13日には、翌日卒業式を控えた蘇陽中3年生にサプライズで披露、中学生も喜んでくれました。



子ども達の笑顔を見て、またやる気になったブルーベリーズです。

## 九州のへそで思いを叫ぶ

3月12日、蘇陽峡の長崎鼻展望所で蘇陽中学校の2年生生徒による立志式が行われました。これは、これから大人になる自覚を生徒に深めてもらうため5年前から実施されています。早朝から蘇陽中学校を出発した生徒は、約5キロの距離を歩き展望所へ向かいました。展望所では、生徒一人ひとりが自分の思いを大声で叫びました。作文の授業などを使って将来の夢や目標を考え臨んだ当日は、将来の夢のほかに「親孝行をするぞ。」といったそれぞれの志を蘇陽峡に向かって叫び、聞いている生徒たちからは歓声と拍手が沸き起こりました。

